

陸連時報 三

2015
平成27年 12月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

目 次

2016年度 主要競技会日程(案).....	198
理事会報告.....	199
強化関連情報(強化委員会).....	200
強化推進本部の新設(専務理事・強化推進本部長 尾縣貢)	
リオデジャネイロオリンピックに向けた強化体制について(強化委員長 麻場一徳)	
新強化体制組織図	
第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ) マラソン代表選手選考要項	
第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ) 競歩代表選手選考要項	
デカネーション2015(パリ/フランス)大会報告(強化委員会中距離部長 平田和光).....	203
第28回IAU100km世界選手権大会報告(砂田貴裕).....	204
マラソンメディスンセミナー2015報告(理事・医事委員長 山澤文裕).....	205
「体育の日」スポーツ祭り2015報告.....	206
連載企画:世界のジュニア競技者育成③人類が進化させてきた発育特性からジュニア競技者育成を考える.....	207
施設用器具委員会報告(15-1)(施設用器具委員会).....	208
大会観戦ガイド.....	210
陸協NEWS.....	212
事務局からのお知らせ.....	214

公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

2016年度 主要競技会日程 (案)

※主要競技会日程は、2016年3月の理事会で最終承認されます。

	主催競技会			主要競技会			国際競技会		
	期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所	期日	競技会名	場所
4月	17(日)	100 日本選手権50km競歩	石川	2(土)	★ 25 金葉記念選抜中・長距離	県民総合(熊本)	28(木)	アジアグランプリ①	
	17(日)	18 長野マラソン	長野	16(土)~17(日)	★ 70 出雲陸上	浜山(島根)			
5月	8(日)	ゴールデングランプリ	等々力(神奈川)	24(日)	★ GP① 兵庫リレーカーニバル	ユニバー記念(兵庫)	2(月)	アジアグランプリ②	
				29(金・祝)	★ GP② 織田記念陸上	広域公園(広島)			
6月	11(土)~12(日)	62 全日本中学通信陸上	各地	30(土)~5/1(日)	★ GP③ 日本選抜陸上和歌山	紀三井寺(和歌山)	5(木)	アジアグランプリ③	チェボサリ(ロシア)
				11(土)~12(日)	100 日本陸上競技選手権混成	長野市営(長野)			
7月	29(金)~8/2(火)	69 全国高校陸上	岡山(岡山)	5(木・祝)*予定	★ 16 水戸招待陸上	Kスタ水戸(茨城)	7(土)~8(日)	世界競歩チーム選手権	
				24(金)~26(日)	100 日本陸上競技選手権	瑞穂(愛知)			
8月	20(土)	51 全国定通制高校陸上	駒沢(東京)	8(日)	★ 26 仙台国際ハーフマラソン	宮城	2(木)~6(月)	17 アジアジュニア陸上競技選手権	ホーチン(ベトナム)
				21(日)~24(水)	32 全国小学生陸上	日産スタジアム(神奈川)			
9月	21(日)~24(水)	43 全国中学陸上	松本平(長野)	26(日)	★ 31 サロマ湖100kmカトマラソン	北海道	3(日)*予定	3 日中韓3か国交流陸上	金泉(韓国)
				24(水)~25(木)	51 全国高専陸上	瑞穂(愛知)			
10月	27(土)~28(日)	4 全国高校陸上選抜	ヤンマーフィールド長居(大阪)	10(日)	★ 29 南部記念陸上	厚別(北海道)	19(火)~24(日)	16 世界ジュニア陸上競技選手権	カザン(ロシア)
				7(日)	★ 41 蔵王坊平クロスカントリー	上山(山形)			
11月	17(日)~19(月・祝)	37 全日本マスターズ	テイクビクススタジアム(新潟)	28(日)	★ '16 北海道マラソン	北海道	12(金)~21(日)	31 オリンピック競技大会	リヂーナ(ブラジル)
				23(金)~25(日)	★ 64 全日本実業団	ヤンマースタジアム長居(大阪)			
12月	7(金)~11(火)	71 国民体育大会	北上(岩手)	17(日)~19(月・祝)	○ 28 出雲全日本大学選抜駅伝	島根	23(火)~29(日)	24 日韓中ジュニア交流競技会	寧波(中国)
				21(金)~23(日)	32 日本ジュニア選手権	瑞穂(愛知)			
2017 1月	21(金)~23(日)	10 日本ユース選手権	瑞穂(愛知)	30(日)	6 大阪マラソン	大阪	26(水)~1/6(日)	22 世界マスターズ陸上競技選手権	パース(オーストラリア)
				28(金)~30(日)	100 日本選手権リレー	日産スタジアム(神奈川)			
2月	13(日)*予定	2 さいたま国際マラソン	埼玉	6(日)	○ 48 全日本大学駅伝	愛知・三重			
				6(日)	13 田島記念陸上	維新百年記念(山口)			
3月	4(日)	70 福岡国際マラソン	福岡	13(日)	32 東日本女子駅伝	福島			
				11(日)	19 小学生クロスカントリー	万博記念公園(大阪)			
4月	11(日)	19 小学生クロスカントリー	万博記念公園(大阪)	27(日)	36 全日本実業団女子駅伝	宮城			
				18(日)	10 日本ユース選手権	瑞穂(愛知)			
5月	25(日)	67 28全国高校駅伝	京都	日程調整中	6 神戸マラソン	兵庫			
				日程調整中	28 全日本びわ湖クロスカントリー	希望が丘(滋賀)			
6月	4(土)~5(日)	'17 日本ジュニア室内大会	大阪城ホール(大阪)	47 防府読売マラソン	山口				
				日程調整中	○ '16 全日本大学女子選抜駅伝				静岡
7月	15(日)	35 都道府県対抗女子駅伝	京都	11(日・祝)	65 元旦競歩	東京			
				22(日)	22 都道府県対抗男子駅伝	広島			
8月	22(日)	22 都道府県対抗男子駅伝	広島	23(金・祝)	35 山陽女子ロードレース	岡山			
				29(日)	36 大阪国際女子マラソン	大阪			
9月	4(土)~5(日)	'17 日本ジュニア室内大会	大阪城ホール(大阪)	28 全日本びわ湖クロスカントリー	希望が丘(滋賀)				
				5(日)	66 別大マラソン				大分
10月	19(日)	100 日本選手権男女20km競歩	兵庫	5(日)	71 香川丸亀国際ハーフマラソン	香川			
				26(日)	'17 東京マラソン	東京			
11月	19(日)	52 千葉クロスカントリー	昭和の森(千葉)	12(日)	57 唐津10マイル	佐賀			
				12(日)	45 実業団ハーフマラソン	山口			
12月	5(日)	72 びわ湖毎日マラソン	滋賀	19(日)	51 青梅マラソン	東京			
				12(日)	100 日本選手権クロスカントリー	海の大道海浜公園(福岡)			
2017 1月	19(日)*予定	41 全日本競歩能美	石川	19(日)	'17 京都マラソン	京都			
				19(日)	○ 20 日本学生ハーフマラソン	東京			
2月	5(日)	72 びわ湖毎日マラソン	滋賀	5(日)	○ 11 日本学生20km競歩	石川	19(日)*予定	'17 アジア陸上競技選手権20km競歩	石川
				12(日)	'17 名古屋ウイメンズマラソン	愛知			
3月	19(日)*予定	41 全日本競歩能美	石川	19(日)	38 まつしゅうハイパーマラソン	島根	26(日)	42 世界クロスカントリー選手権大会	カンパウ(ウガンダ)
				19(日)	○ 11 日本学生ハーフマラソン	東京			

★=後援競技会、○=協力団体主要競技会

IAU100km世界選手権 未定

理事会報告

第31回理事会

日時：2015年9月30日（水）

14時00分～16時20分

場所：小田急第一生命ビル 11階 会議室

【議題】

<協議事項>

1. 2016年度主要競技会日程
2. 第31回オリンピック競技大会（2016／リオデジャネイロ）報奨金
3. 本連盟主催クロスカントリー競走について

<報告事項>

1. コンプライアンス委員会委員の選任について
2. 後援競技会認定委員会委員長・委員の選任について
3. 競技運営委員会視察報告
 - ・第21回アジア陸上競技選手権大会（2015／武漢）
 - ・第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）
4. 第9回世界ユース陸上競技選手権大会（2015／カリ）結果報告
5. 第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）結果報告

【議事内容】

開会に先立ち、風間事務局長より理事定数30名、出席者数29名で本理事会が有効に成立した旨を報告し議題に入る。

<協議事項>

1. 2016年度主要競技会日程
尾縣専務理事より、2016年度主要競技会日程について、資料に基づき説明があり、承認された。（本号198頁及び本連盟WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/pdf/2016calendar.pdf>参照）
2. 第31回オリンピック競技大会（2016／リオデジャネイロ）報奨金
尾縣専務理事より、第31回オリンピック競技大会の報奨金について、資料に基づき説明があり、下記の通り、承認された。但し、順位変更に伴う報奨金額の変更期間は、再度検討となった。

順位	選手	コーチ
1位	2,000万円	600万円
2位	1,000万円	300万円
3位	800万円	200万円
4位	300万円	100万円
5位	200万円	80万円
6位	200万円	80万円
7位	100万円	40万円
8位	100万円	40万円

※リレー種目は、コーチ共にそれぞれ上記の表の半分とする。
※リレー種目はいずれかのラウンドを通じて出場した全選手を対象とする。

※コーチとは、事前に申請されている専任コーチを対象とする。
※コーチの報奨金において、対象選手が複数いた場合、最上位1名分の報奨金を支給する。

3. 本連盟主催クロスカントリー競走について

尾縣専務理事より、資料に基づき説明があり、2016年2月開催の第51回千葉クロスカントリー大会及び第99回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走の大会要項が承認された。（両大会の大会要項は、11月下旬、本連盟WEBサイトに掲載予定）

<報告事項>

1. コンプライアンス委員会委員の選任について
尾縣専務理事より資料に基づき、2017年開催の定時評議員会終結時までの委員の選任が報告された。
2. 後援競技会認定委員会委員長・委員の選任について
尾縣専務理事より資料に基づき、2017年開催の定時評議員会終結時までの委員長、委員の選任が報告された。
3. 競技運営委員会視察報告
鈴木理事・競技運営委員長より、第21回アジア陸上競技選手権大会（2015／武漢）及び第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）の視察について報告された。
4. 第9回世界ユース陸上競技選手権大会（2015／カリ）結果報告
原田理事・強化委員長より資料に基づき、リザルトの説明があり、金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル1個を獲得したことが報告された。
5. 第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）結果報告
原田理事・強化委員長より資料に基づき、結果の報告があった。

なお、非公開において、「国際陸上競技連盟選挙」、「新国立競技場について」の報告を行った。

また、協議事項として、「強化委員長の変更」、「強化推進本部について」を諮り、同日付けで麻場一徳強化委員長の就任が承認された。

強化関連情報

強化委員会

強化推進本部の新設

専務理事・強化推進本部長 尾縣 貢

本連盟の強化組織をより強固なものにするために、強化推進本部を設置することが9月30日の理事会にて決定した。強化推進本部は、2016年のリオデジャネイロオリンピックに向けての短期の強化計画を考えるとともに、2020年東京オリンピックまでの中期強化戦略を検討する機能を持つ。

東京オリンピックまでの残された時間は5年弱である。そして、東京に向かう過程で大切なマイルストーンとなるリオデジャネイロオリンピックまでは9か月を切った。強化推進本部で協議したことは速やかに強化現場で実行できるように、スピード感を持たせなければならぬ。そして、時には大胆で、斬新なアイデアに基づく策を展開することも求められる。そこで、“Road to Rio” “Road to Tokyo”を力強く歩んでいくことを応援するような陸上界全体のバックアップ体制が必要である。強化推進本部は、強化委員会の考えを共有したうえで、強化活動を十分に遂行できるように条件整備にも力を注ぎたい。

また、強化活動の評価も推進本部の役割である。これまでは強化活動全般に対して、客観的に評価がなされることはなかった。評価することにより的確な課題が見つかり、その課題を解決するための戦略が新たに生まれるものである。常に強化現場の問題、課題を明確にしつつ、焦点のぼやけのない強化活動を遂行することが要求される。

本部員には、強化委員会メンバーの他に、専門的な意見をお聞きするため豊富な選手経験や指導者経験を持つ

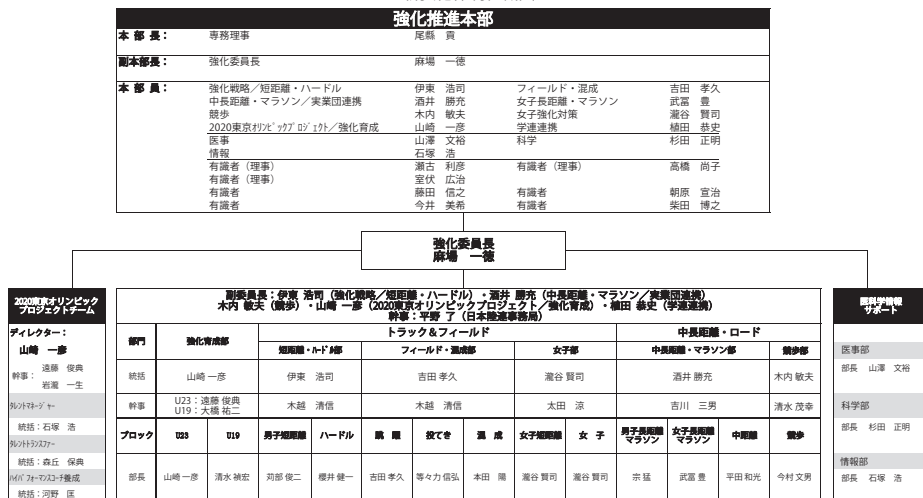
外部有識者および強化に精通した本連盟の理事に加わっていただいている。また、わが国のアドバンテージと言える医事、科学、情報部門とのより密接な連携を図るために、それぞれの責任者をメンバーに登用した。こういった多くの目、頭脳で構築された強化策を迷いもなく強化委員会が実行することで、大目標である二つのオリンピックに向かっていきたい。

リオデジャネイロオリンピックに向けた強化体制について 強化委員長 麻場 一徳

先に開催された北京世界陸上競技選手権後の原田康弘前強化委員長の辞任を受け、その後を引き継ぐ形で、私が9月30日付で強化委員長を務めることとなった。そもそも、1年前に原田前強化委員長をサポートする立場で強化副委員長に就任した経緯から考えると、今回このような事態になったことに責任を感じている。

私は、尾縣専務理事から強化委員長を引き継ぐように打診された際に、これを機に一旦現強化委員会を解散し、2020年に開催される東京オリンピックを見据え、5年体制で東京オリンピックを目指す組織に切り替えたらどうかと申し上げた。しかし、専務からの「リオデジャネイロに向けて1年を切った今、現体制を継続しなければならぬ」との回答を受け、「ここでの強化体制刷新は、リオデジャネイロオリンピックを競技生活の集大成とするアスリートにとっては混乱を招くものであり、日本陸連としてリオデジャネイロオリンピックに向けていま目の前にいるアスリートの環境を整える使命がある」との結論に至り、力不足を感じながらも引き受ける決心をした。

新強化体制組織図



幸いなことに、前強化委員会で重責を担っていた副委員長や部長が継続を承諾し、リオデジャネイロまで引き続き選手強化に邁進してもらえたこととなった。今回の世界選手権の結果や、前委員長の辞任を受け、様々な思いがある中での各委員の英断にこの場を借りて心より感謝申し上げたい。加えて、今から約1年前にこの強化委員会を離れることになった伊東浩司氏にも、私の後の副委員長（強化戦略担当）として復帰していただけることとなった事は心強い限りである。

今回、世界陸上競技選手権での課題を受け、強化委員会の体制を若干改組した。変更点は二つあり、一つはトラック&フィールド部門に女子ブロックを創設したことである。今回の北京世界陸上競技選手権においては、この部門の女子代表は、4×400mリレー以外では福島千里選手と海老原希選手の2名であった。これまでの強化体制においては、女子短距離、女子長距離マラソンを除き、各ブロックにおいて男女一緒に強化する方法がとられていたが、そこではどうしても世界で戦える位置にいる男子中心の強化策をとらざるを得ない状況にあった。また、強化育成部で実施しているオリンピック育成競技者（U23）では0名、ダイヤモンドアスリートでは2名しか女子競技者が対象になっていないことも鑑み、女子アスリートに焦点を当てた強化施策の必要性があったからである。それにともない、女子短距離ブロックと併せて女子部というカテゴリを作ることとなった。

もう一つは、これまでトラック&フィールドとして一つのカテゴリで位置づけられていた部門を短距離・ハードル部とフィールド・混成部とに分けたことである。これは、両者において世界陸上競技選手権やオリンピックにおける参加標準記録の設定のされ方、具体的には各

種目のエントリーのターゲット数にも違いがあり、そのことから強化のプロセスにおける目標設定値や選手選考における記録の重みづけなどに違いが生じている事によるものである。両部門を分けることによって、強化現場でのより現実的な取り組みができるものと思われる。そして、短距離・フィールド部門の統括を伊東氏に、フィールド・混成部門の統括を吉田孝久氏に務めていただくこととなった。

このように体制を多少変更することとなったが、リオデジャネイロオリンピックに向けた強化の方針については変更されることはない。すなわち、1) リオデジャネイロオリンピックに向けて戦える競技者の育成と派遣、2) 2020東京オリンピックに向けた選手の育成と強化、これらを実現するために、①派遣設定記録の設定とそれを用いた選手選考、②強化競技者制度を基にした個人強化の充実、③ナショナルリレーチーム及びナショナルマラソンチームの編成と充実、④海外競技会への積極的な派遣、⑤医科学、情報戦略の充実と活用、を具体的施策として推進していくものである。

また、強化委員会の活動を円滑に進める組織として、この10月から強化推進本部が設置された。尾縣貢専務理事を本部長とするこの推進本部では、強化委員だけでなく理事や医科学情報の専門家、メダリストやその指導者等、専門家の多様な観点からの意見を集約することにより、強化委員会の諸施策の策定にあたっての助言や文字通り推進することを目的としている。それは、「決して現場介入ではない」と明言されており、私たちしても心強いものである。しかし、強化推進本部という後ろ盾に甘えることなく、強い意志と具体的戦略をもってリオデジャネイロオリンピックに挑む所存である。

第31回オリンピック競技大会（2016／リオデジャネイロ）マラソン代表選手選考要項

1. 編成方針

本大会でのメダル獲得を含めた複数入賞を目指す選手団編成とする。

2. 選考競技会

(1) 男子

- ①第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）
- ②第69回福岡国際マラソン選手権大会（2015／福岡）
- ③東京マラソン2016（2016／東京）
- ④第71回びわ湖毎日マラソン（2016／大津）

(2) 女子

- ①第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）
- ②第1回さいたま国際マラソン（2015／さいたま）
- ③第35回大阪国際女子マラソン（2016／大阪）
- ④名古屋ウィメンズマラソン2016（2016／名古屋）

3. 選考基準

編成方針に基づき、本大会の参加標準記録を有効期間内に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。

内定条件と選考条件を、下記のとおり定める。

(1) 内定条件

選考競技会①の男女マラソン8位以内入賞者で、日本選手最上位者各1名を内定する。

(2) 選考条件

男女選考競技会②～④において日本人3位以内の競技者から、下記の1)から2)の優先順位で選考する。

- 1) 日本陸連設定記録を有効期間内に満たした競技者。（各最大1名）
- 2) 各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者。

4. 参加標準記録及び日本陸連設定記録

種目	参加標準記録	日本陸連設定記録
男子マラソン	2時間18分00秒	2時間06分30秒
女子マラソン	2時間44分00秒	2時間22分30秒

5. 選考方法

- (1) 選考基準(1)による選考は、即時内定とする。
- (2) 選考基準(2)による選考は、全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、原案策定会議で選考し、理事会において決定する。

6. その他

- (1) 各記録の有効期間は下記の通り。
参加標準記録：2015年1月1日～2016年3月13日
日本陸連設定記録：2014年4月1日～2016年3月13日
- (2) 資格記録は、上記有効期間内で国際陸上競技連盟が、第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)及び本大会の参加標準記録として承認する競技会での記録を対象とする。
- (3) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考される

- が、その派遣人数は国際陸上競技連盟が定めるエントリー数の上限の枠を保证するものではない。
- (4) 派遣人数枠及び代表選手は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会が正式決定する。
- (5) 選考基準(2)-1からの選考は、複数回の選考競技会に出場した場合の順位及び記録も評価の対象とする。
- (6) 選考基準(2)-2からの選考は、当該選手が出場した初回の選考競技会を評価の対象とする。
- (7) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (8) 補欠は選考しない。
- (9) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。
- (10) 本大会は、2016年8月12日～8月21日までリオデジャネイロ(ブラジル)で開催される。

第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)競歩代表選手選考要項

1. 編成方針

メダル獲得及び入賞を目指すチームを編成する。

よる失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者

2. 選考競技会

(1) 男子20km競歩

- ① 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
- ② 第99回日本陸上競技選手権大会・20km競歩(2016/神戸)
- ③ 第40回全日本競歩能美大会(2016/能美)

(2) 男子50km競歩

- ① 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
- ② 第54回全日本50km競歩高島大会(2015/高島)
- ③ 第100回日本陸上競技選手権大会・50km競歩(2016/輪島)

(3) 女子20km競歩

- ① 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
- ② 第99回日本陸上競技選手権大会・20km競歩(2016/神戸)
- ③ 第40回全日本競歩能美大会(2016/能美)

3. 選考基準

編成方針に基づき、本大会の参加標準記録を有効期間中に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。

種目ごとの内定条件と選考条件を、下記のとおり定める。

(1) 内定条件

- ・選考競技会①の各種目8位以内入賞者で、日本選手最上位の競技者
- ・選考競技会②、③の日本人1位で、出場選考競技会終了時点で派遣設定記録を満たした競技者

(2) 選考条件(優先順位は1、2)の順

- 1) 選考競技会②、③において日本人3位以内で、全選考競技会終了時点で派遣設定記録を満たした競技者の中から下記の基準により選考する。
各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者
- 2) 選考競技会②、③において日本人3位以内で、全選考競技会終了時点で参加標準記録を満たした競技者の中から下記の基準により選考する。
各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反に

4. 参加標準記録及び派遣設定記録

種目	参加標準記録	派遣設定記録
男子20km競歩	1時間24分00秒	1時間20分12秒
男子50km競歩	4時間03分00秒	3時間45分02秒
女子20km競歩	1時間35分00秒	1時間29分15秒

※1 派遣設定記録：本連盟が定める、世界ランキング12位相当の記録

5. 選考方法

- (1) 選考基準(1)による選考は、即時内定とする。
- (2) 選考基準(2)-1による選考は、全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で決定し、理事会において報告する。
- (3) 選考基準(2)-2による選考は、トラック&フィールド種目を含めた全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、原案策定会議で選考し、理事会において決定する。

6. その他

- (1) 参加標準記録及び派遣設定記録の有効期間は、2015年1月1日から全選考競技会終了日まで。
- (2) 資格記録は、上記有効期間内で国際陸上競技連盟が、第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)及び本大会の参加標準記録として承認する競技会での記録を対象とする。
- (3) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は国際陸上競技連盟が定めるエントリー数の上限の枠を保证するものではない。
- (4) 派遣人数枠及び代表選手は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会が正式決定する。
- (5) 補欠は選考しない。
- (6) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (7) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。
- (8) 本大会は、2016年8月12日～8月21日までリオデジャネイロ(ブラジル)で開催される。

デカネーション2015(パリ/フランス)大会報告

強化委員会 中距離部長 平田 和光

1. はじめに

デカネーション2015が9月13日、フランスのパリで行なわれた。日本選手団は男子10名、女子10名、役員9名のチーム編成で臨んだ。海外遠征、国際大会の経験が少ない選手が多かったが、積極的に大会に参加して経験を積んでくれた。

9月10日羽田国際空港での結団式では、監督として大会に向けての挨拶を兼ねて「世界陸上競技選手権では思っていたよりレベルが高くなっており、日本は苦戦をした。本番で如何に力を発揮する為に、速さより強さが必要だと感じた。その強さを身につける為にデカネーションで経験をし、競技力の向上を図ってもらいたい」と選手に話をした。選手団のキャプテンとして任命された、堤雄司選手（群馬総合ガードシステム）からは、「去年も参加をして大会の運営の素晴らしさによる選手の盛り上がりを経験する事が出来た。日本では感じる事の出来ない大会の運営であり、このような大会に参加できることが嬉しく、皆さんもぜひ楽しみに頑張ってください」と決意表明があった。団長の尾縣貢専務理事から、「海外遠征では必ず結果を出していかなければいけない大会と国際経験を積み上げていく大会の2通りがあるが、デカネーションについては、後者の国際経験をしていく大会なので、結果に捉われず積極的に臨んで一人でも自己記録更新を果たしてもらいたい」との挨拶があった。

2. 大会の概要

デカネーションは7カ国（中国、アメリカ、イタリア、ロシア、フランス、ウクライナ、日本）男女10種目を国別対抗戦で争う大会で、10年近くの歴史があり日本は昨年参加し2年目になる。選手のレベルも高く、世界陸上競技選手権、ダイヤモンドリーグ等参加した選手が多数出場していた。大会運営は選手と観客が一体となり、非常に盛り上がりのある運営状況であった。

3. 生活環境

パリの天候は、非常に過ごしやすく秋の深まりを感じるような天候だったが、大会前日と当日は雨が降り気温も下がった。競技が始まると雨は止んだが、気温は低かった。競技場は、観客席も数万人入るような大きさだが、日本と比べると整備状況は、良い状態とは言えなかった。宿舎となったホテルは、若干手狭ではあったが過ごしやすかった。食事はバイキング形式で、日程が短かったのも関係するかもしれないが食事内容に問題はなかった。大会会場までのアクセスは、大型バスで10分程度。大会前日等では若干の遅れ等もあったが、大会当日は主催者側の配慮もあり問題はなかった。

4. 競技会運営

ヨーロッパでの大会ということもあり、全般的にゆったりとしていて、大会前日ぐらいいからやっとな大会らしい雰囲気になった。日本の競技運営と比べると、スタートリストやリザルトなどの情報

配信は遅かったが、臨機応変に対応していく事も経験であると思った。スタッフは先行して情報収集に努め、選手の不安を少しでも軽減する環境を作り、ベストコンディションで大会に臨めるように細部においてブロックミーティングを行なった。

5. 競技結果

今大会の目標は、昨年度は団体で6位だったので、それよりも上を目指し1人でも自己ベスト・シーズンベストを出す事を目標に大会に臨んだ。結果については、団体で6位、個人では高見澤安珠選手（松山大学）が3000mSCで9分53秒72の自己ベスト・ジュニア日本新記録・日本学生新記録で4着という素晴らしいパフォーマンスを発揮した。今回、サニブラウン アブデルハキーム選手（城西大学附属城西高校）、金井直選手（川崎市立高校）、エドバールイヨバ選手（東京高校）、石塚晴子選手（東大阪大学敬愛高校）、郡菜々佳選手（東大阪大学敬愛高校）の高校生5名が含まれていた。自己記録はならなかったが、臆することなく積極的にレースに取り組み自己記録に迫る内容であった。この様な海外遠征での経験を積み上げて、世界陸上競技選手権・オリンピックで自身の力を十二分に発揮できる強い選手になってもらいたい。全体的には、自己記録が1名に留まり、団体では、1位アメリカ、2位ロシア、3位フランス、4位ウクライナ、5位中国、6位日本、7位イタリアの成績であったが、冒頭で国際経験を積む中で強い選手を目指す、一人でも自己記録・シーズンベストを出す目標については、ほぼ達成できたのではないと思う。

6. 最後に

今回同行して頂いた日本陸連事務局をはじめ、高校生5名と若手の選手の生活指導及び大会に向けて万全の態勢で臨める様にご協力頂いたスタッフの方々には御礼申し上げます。村上トレーナーも20名の選手を一人で精力的に朝から晩まで対応して頂いたお陰で、滞在期間中故障者及び体調を崩す選手もいなく大会に臨む事ができました。選手は、この経験を今後の競技人生に活かしてもらい、この中から一人でもオリンピック・世界陸上競技選手権に出場して活躍する事を願っています。

日本選手団役員（9名）

役職	氏名	所属
団長	尾縣 貢	専務理事
監督・男女中距離コーチ	平田 和光	自衛隊体育学校
男子短距離・ハードルコーチ	山村 貴彦	城西大学附属城西高校
女子短距離・ハードルコーチ	石田 智子	長谷川体育施設
跳躍コーチ	小賦 肇	名桜大学
投擲コーチ	石井田茂夫	花園高校
トレーナー	村上 博之	マキモ鍼灸治療院
渉外	大嶋 康弘	日本陸連事務局
渉外	河合江梨子	日本陸連事務局

デカネーション（2015/パリ）大会結果 2015年9月13日

No.	競技種目	氏名	所属	自己ベスト	決勝
1	100m	サニブラウン アブデルハキーム	城西大学附属城西高等学校	10.28	10.49 5着
2	400m	田村 朋也	住友電工	46.07	46.65 4着
3	800m	川元 奨	スズキ浜松アスリートクラブ	1:45.75	1:49.25 3着
4	1500m	荒井 七海	東海大学	3:43.47	4:00.43 6着
5	110mH	金井 直	川崎市立橋高校	13.85	14.17 5着
6	3000mSC	山下 洸	NTN	8:33.57	9:06.21 6着
7	三段跳	岡部 優真	九電工	16.54	15.85 5着
8	棒高跳	荻田 大樹	ミスノ	5.70	5.25 3着
9	砲丸投	中村 太地	国士舘クラブ	17.82	15.78 7着
10	円盤投	堤 雄司	群馬総合ガードシステム	60.05	56.23 3着
11	100m	エドバール イヨバ	東京高校	11.72	11.77 4着
12	400m	石塚 晴子	東大阪大学敬愛高校	53.30	54.64 7着
13	800m	真下まなみ	セレスボ	2:03.52	2:13.50 7着
14	1500m	須永 千尋	資生堂	4:14.99	4:22.28 7着
15	100mH	紫村 仁美	東邦銀行	13.02	14.01 6着
16	3000mSC	高見澤安珠	松山大学	9:54.95	9:53.72 4着 自己ベスト・ジュニア日本新記録・日本学生新記録
17	走高跳	渡邊 有希	ミライトテクノ	1.84	1.73 7着
18	走幅跳	岡山沙英里	広島JrOC	6.59	6.06 5着
19	砲丸投	郡 菜々佳	東大阪大学敬愛高校	15.44	14.51 7着
20	円盤投	坂口 亜弓	S・T・T	54.22	51.00 6着

第28回IAU100km世界選手権大会報告

砂田 貴裕

1. 総合評価

選手名	種目	競技成績	備考
原 良和	100km	7時間13分33秒	35位
永田 務	100km	7時間45分57秒	63位
板垣 辰矢	100km	6時間52分37秒	11位
高田 由基	100km	7時間21分52秒	42位
望月 千幸	100km	6周目リタイア 60km 4時間28分53秒	DNF
片山 志保	100km	9周目リタイア 90km 6時間56分49秒	DNF
藤澤 舞	100km	7時間56分59秒	15位
太田美紀子	100km	7時間52分39秒 (自己新)	13位

2. 競技結果に対する分析、評価

(特に、掲げた目標と結果との差異に対する分析)

目標 男子 個人 銅メダル以上

団体 銅メダル以上

女子 個人 優勝又は銀メダル

団体 銅メダル以上

目標に対しての結果には及ばなかった。レースコンディションは少し寒い感じだが悪くなかったと思う。レース内容として、先頭は男女共に前半世界記録を上回るレースで進んでいた。日本選手の板垣選手、望月選手が男女共に2番手で追いかける形で進んでいたが、4周目、40km以降からラップタイムが少しずつ落ちていった。板垣選手は、この時点で諦めずラップタイムを維持できれば表彰台と期待はできたが、さらにラップタイムが悪くなり後半挽回しても厳しいレース内容となった。望月選手は、左足の故障で60km通過後に途中棄権となった。

男子の原・永田・高田選手は、サロマ湖100km同様にレースを進めたが持前の後半の走りが出来ず順位が思うように上がらずに終わった。女子の片山選手は、60kmまでは後半型の良いレースであったが最終周回に座り込む急な体調不良により途中棄権、太田選手が先行する藤澤選手を70km付近でパスし終始安定していた太田選手が自己ベストで13位、藤澤選手は、自己記録には及ばなかったが8時間を切る事が出来た。女子の団体戦は、3名の平均タイムを集計し順位をつけるが2名の選手がDNFの為に残念ながら入賞は無くなった。

世界大会では、男子6時間30分以内、女子7時間30分以内が3位入賞の圏内が確実

のタイムとなる。団体入賞も男子7時間以内、女子8時間以内である。このレベルの選手育成と代表メンバーの選出が必要不可欠で有ると感じる。しかしタイムもだが100kmは長丁場のレースの為に冷静かつ海外選手のレース展開を分析が絶対となる。また、どの様なレース展開や環境でも対応できるよう速い選手も必要だが強い選手が求められる。まさに今回の優勝者は男女共に速いと強いが両立した選手であった。

3. 試合までのトレーニング、現地調整について

各自に現地の練習内容は選手に一任した。

内容としては、朝練習、軽めの40～60分のジョギングを行っていた。

本練習、足の張り具合等を確認しながら60分のジョギングを実施していた。

また、今回トレーナー同行による治療によりかなり体調の良い状態で、不安なくスタートラインに立てる事ができたと思う。

食事については、パンとハムが中心の食事であるが、日本から持ち込んだレトルトご飯等で選手各自が工夫して栄養管理を行っていた。

特に、体調不良になった選手はいなかった。

4. その他、今大会の対応等について(課題、問題点)

現地でのコース試走には手間を取ってしまった。地図上の情報と実際のコースにギャップがあり、また、複数の曲がり角が連続するため試走中にコースロストする場面が数回あった。

特に課題や問題点となる深刻な問題は起きなかったように思う。



マラソンメディスンセミナー2015報告

理事・医事委員長 山澤 文裕

日本陸連は安全で安心できるマラソン大会の構築と運営に寄与することを目的に、2013年9月よりマラソンメディスンセミナーを開催している。今年度は第3回目のセミナーで、2015年9月27日に味の素ナショナルトレーニングセンターに、日本陸連公認コースマラソン32大会主催者、医療救護関係者、講演者を含め70名が集まった。これまで主催者側の医療体制について主に討議してきたが、2015年度は多数の傷病者（マスカジュアルティー）発生を想定して、目の前の傷病者にどのように対応するか、実戦的な具体的なトレーニングを交えた。

佐々木英夫医事副委員長の司会のもと、まず筆者が主催者を代表して挨拶を行った。

宮田英明競技運営委員より、競技者の安全を確保するため、①主催者は競技者や役員の安全を確保する、②主催者が任命したスタッフによる競技者の検診は助力とみなさない、③医師又は競技役員から中止を命じられたら競技をやめなければならない、ことが強調された。助力は競技者の手助けとなる行為（後輩を先輩が押しながら走るなど）を禁じており、助力をしたとみなされた場合は協力したもの、されたものどちらも失格となる。しかし、マラソン大会中に選手が倒れた場合は、医療スタッフが直ちに現場へ向かうことができないという道路競技の特性上、大会スタッフや参加者による応急処置は助力とはみなしていないので、躊躇なく実施すべきであることが強調された。

真鍋知宏医事委員は、2011年4月から2015年3月の4年間に日本陸連公認コースで行われた243マラソン大会（42.195kmのみを対象）に対して実施したアンケート調査について報告した。マラソン大会は10月から3月にかけて実施されることが多く、最近はじめられた大会は、10,000～15,000人規模の大会が多いと報告した。全参加者1,746,781人で、27名が参加中に心肺停止を起こし、心肺停止発生率はマラソン参加者10万人あたり1.55人（64,696人あたり1人）であったと報告した（論文投稿準備中）。このような詳細な検討は日本では初めてであり、国際的にも高く評価される内容である。

産婦人科医である難波聡医事委員より、女性競技者の三徴について詳細な説明があった。女性ホルモンが低いことによる無月経および疲労骨折発生のおおもとの原因は、摂取エネルギー不足にあるとし、無月経に続発する骨粗鬆症は選手生命そのものを短くし、ホルモン療法よりもまずはエネルギー不足の改善が必要であると警鐘がならされた。

東京マラソン医療救護委員である三橋敏武先生より、マラソン中の低体温症について、低体温はどの大会でも起こりうるものとして準備が必要である、気温については、スタート後に気温が低下すると想定されるときは低体温症例が増える、天候については、雨やみぞれなどの悪天候が重なる、低体温症例は極めて多くなると、東京マラソンでの経験を発表された。

東京マラソン医療救護委員 石川秀樹先生からトリアージについての基本を学んだ後に、提示された傷病者のトリ

アージについて、参加者全員が緑、黄、赤、黒に色分けされたカードを掲示して、適切な分類であったかを確認した。実戦的でわかりやすく、何をしなければならないか、明確になった。

筆者は3000人以上参加の38大会から回答された医療体制に関するアンケート調査結果を報告した。傷害疾病保険への加入、医療救護委員会設置、事前救命講習会実施の大会が年々増えているが、当日の健康チェックリスト、マラソン10か条などを、まだ活用していない大会があった。

大規模市民マラソン大会として、世界最大の女子マラソンとして「ギネス世界記録」に認定された名古屋ウィメンズマラソンから中川隆先生に、医事組織、医療体制について紹介していただいた。医師、看護師、トレーナー、消防職員、学生等約1,100人のスタッフ、救護所17か所、AED142台など手厚い医療体制とし、通信手段を複数利用したと報告した。女性ランナーならではの対応策として、ナゴヤドームとコース沿道に仮設トイレの十分な配置、コンビニエンスストアのトイレ利用の事前承諾などの準備について触れた。2014年より開始された横浜マラソンの高橋耕平先生が、往路と復路の70%は別ルートで必要救護所の設置が増加した、約11kmに渡り高速道路上にコースが設置され、緊急時の救急車アクセスに制限があったと、医療体制構築上の問題点について話された。さらに、救護本部でランナーの移動や医療救護状況を把握できない、一部救護所と本部間の通信不安定、高速道路終了以降の傷病者増加、ゴール後付近でのランナーの停滞による救護活動等への障害、などの課題があったことが報告された。

全体ディスカッションでは、各大会で抱える問題・課題を討議し、新たな課題を見つけることができたと思われる。次年度も開催できるよう、関係の皆様を協力を引き続きお願いしたい。

1. 陸連挨拶（医事委員長 山澤文裕）
2. 安全性を高めるために陸連が行っていること
マラソンの安全管理体制
（競技運営委員会 宮田英明）
マラソン中の心肺停止
（医事委員会 真鍋知宏）
女性ランナーの障害予防
（医事委員会 難波 聡）
3. 外気温と低体温症
（東京マラソン医療救護委員 三橋敏武）
4. トリアージ トレーニング
（東京マラソン医療救護委員 石川秀樹）
5. 2015年医療体制アンケートまとめ
（医事委員長 山澤文裕）
6. 大規模市民マラソン大会の医事組織、医療体制の紹介
名古屋ウィメンズマラソン（中川隆先生）
横浜マラソン（高橋耕平先生）
7. 全体ディスカッション

「体育の日」スポーツ祭り2015報告

事務局

平成27年度「体育の日」中央記念行事スポーツ祭り2015が、文部科学省他の主催により、味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）で開催された。本行事は、多くのオリンピックやトップアスリートがさまざまな種目に参加するビッグイベントであり、陸上競技は藤光謙司選手（ゼンリン）、中村明彦選手（スズキ浜松AC）、戸邊直人選手（つくばツインピークス）、右代啓祐選手（スズキ浜松AC）の4名に参加頂いた。

開催当日の10月12日（祝・月）は、秋晴れの快晴のもと、公募によって選ばれた小学生75名が、トップアスリートのデモンストレーションを間近で体験したり、陸上競技の基本である「走る」「跳ぶ」「投げる」といった基本的な動作を教わった。

デモンストレーションでは、右代選手にやり投、藤光選手に短距離、中村選手にハードル、戸邊選手に走高跳を担当して頂いた。小学生たちは普段体験することのない、ハードルの高さや走高跳のバーの高さ、やり投の投擲距離を間近で見ることによって、選手の高いレベルを肌で感じ、トップ選手のパフォーマンスに喜びと驚きをみせていた。

陸上教室では、参加した小学生を2グループに分け、短距離・ハードル・走高跳・ヴォータックス投をローテーションしながら実施した。限られた時間の中での実施であったが、普段は日本のトップ選手しか使用することのできない味の素ナショナルトレーニングセンターの陸上トレーニング場で走ることができたことや、また、トップアスリートと触れ合い、一生懸命に身体を動かしてくれたことは、貴重な体験になったと思われる。

<陸上競技教室の詳細>

○短距離

短距離の指導者は、藤光謙司選手（ゼンリン）に担当して頂いた。短距離走のための基本的な動きづくりや、スタートダッシュの反応を早めるための変形ダッシュを行っていた。

○ヴォータックス投

ヴォータックス投の指導者は、右代啓祐選手（スズキ浜松AC）に担当していただいた。ヴォータックスの握り方や身体の使い方を指導して頂き、1人ずつの遠投を行った。また、コントロールを意識した的当ても行い、小学生たちも楽しく練習している様子だった。

○ハードル走

ハードル走の指導者は、中村明彦選手（スズキ浜松AC）に担当していただいた。

ハードル走を実施するためにハードルドリルから始まり、ハードルを実際に並べたハードル走を指導して頂いた。使用したハードルは足が当たっても痛くないようなもので、ハードル自体も倒れやすいものを使用したため、怪我なくハードル走を体験することができていた。

○走高跳

走高跳の指導者は戸邊直人選手（つくばツインピークス）に担当して頂いた。走高跳のはさみ跳びをするために、まずジャンプ系のドリル・バウンディング・大股走などを行い、高く跳ぶための感覚を身につけた後、最後は高跳用のマットを使用して、はさみ跳びを跳んでもらった。実際に高跳用のマットや器具を使用して跳ぶ機会は少ないこともあり、子供たちも興味津々に活動していた。



連載企画：世界のジュニア競技者育成③ 人類が進化させてきた発育特性からジュニア競技者育成を考える

普及育成委員会普及政策部長 伊藤静夫

「小学校入学以来、比較的安定していた時期が続いたのち思春期になると様相が一変し、本人にもわからないような内部での大変革が生じる。この思春期の難しさを、教師自身が腹の底でよくわかっていることが大切である」（河合隼雄、「子どもと学校」岩波新書）。

ジュニア競技者の育成においても心すべきことである。しかし、何をどのように考慮すべきか、実行面では案外心許ない。進化生物学の分野でも、人類の発育発達に関してようやくわかってきたことが多い。長い子どもの時期、思春期のスパートなどが人類固有の現象であり、その意味するところが明らかにされつつある。心許ないのも、やむを得ないだろう。しかしだからこそ、そうした進化生物学の視点から、現代のジュニア競技者育成を今一度考え直してみる価値はあるだろう。

なぜヒトには長い子ども期が発達したのか？

ヒト以外の動物に、長い子どもの時期は存在しない。未熟な子どもの期間が長いほど、それだけ捕食者に狙われるリスクが高くなる。したがって、動物たちはできるだけ幼体段階を速く駆け抜けるように進化してきた。それが適応的だからである。なぜか、ヒトにだけ未熟な長い子ども期がそなわった。我々がごくあたり前に思っている子どもという時期や思春期の存在は、他の動物からみればまことに奇妙な特性なのである。

なぜヒトに、長い子ども期が発達したのか？ 諸説の中から二つの有力な仮説を紹介する。

一つは、ヒトの大きな「脳」を育てるため、というのが現在の定説である。ヒトの脳重は、チンパンジーの2倍以上（1500g）あり、しかも、多くのエネルギーを費やす（安静時代謝の約20%）。この大きな脳を育てるためには、からだの成長を犠牲にしなければならなかった、という説である。脳とからだを同時に成長させることは難しく、そこで人類はこれらを分割して成長させる戦略を進化させてきた。すなわち、脳の成長を優先させ、からだの成長を後回しにしたのである。

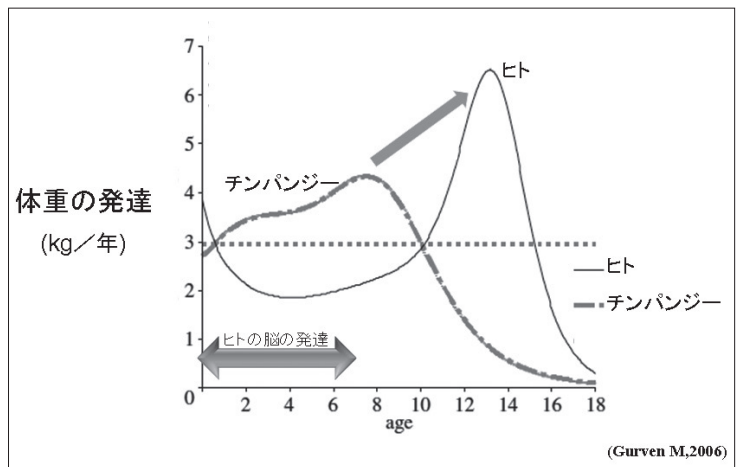
そして、この分割成長の結果としてあらわれたのが、思春期のスパート現象である。身長は、女子で11～12歳、男子で13～14歳に急速に伸びる。典型的な思春期スパート現象であり、ジュニア競技者育成モデルにおいても思春期到来の重要な指標として定着している。それは、脳の成長が完了したので、先延ばしにしていた体の成長をキャッチアップさせ、子ども期のゆっくりとした成長による遅れを取り戻すスパート現象とうつる。図は、体重発育についてチンパンジーとヒトを比較しているが、チンパンジーには明確な思春期スパートがみら

れない。人類が子ども期を伸ばして思春期スパートを進化させてきた様相が、図からも容易に想像できるだろう。

さて、もう一つ、ヒトの子ども期が発達した理由として「学習必要説」がある。

人類の脳の発達と狩猟採集活動の発達とは軌を一にしている。人類が進化させてきた狩猟活動は、獲物の足跡を探索する知力、あるいは仲間と協力するチームワークなど高い総合能力が必要とされた。これらの複雑で高度な能力は遺伝子情報には書き切れず、長期間の学習によって修得しなければならなかった。現存の狩猟採集民族の生活史を調査した結果によると、狩猟能力のピークを迎える年齢は40～50歳である。つまり、ヒトの狩猟能力は長期間の学習システムとセットで進化してきたと考えてよい。子ども期という長い学習期間があったからこそ、高度な狩猟採集能力を発達させ、またそのことが脳を発達させたと考えられるのである。

以上二つの仮説は、恐らく相互に関連しながら、ヒトの発育発達戦略を形づくってきたと考えるのが妥当であろう。重要なことは、この発育発達戦略が現代の子ども身体基本設計として、そのまま引き継がれていることである。現代においてなお思春期スパートが厳然と存在していることが、そのことを如実に物語る。我々の身体基本設計は、「乳児期」「子ども期」「思春期」「成人期」という発育段階を踏んで成長するようにプログラムされている。こうした基本設計に基づいて、我々の生活史も築かれ、さらには生活文化、スポーツ文化を生んできた。数十万年間かけてつくられたこの精妙な設計図を安易に考えてはならない。せっかく設定された子ども期に、設計図から外れた、大人顔負けのトレーニングや競技会を課すことがどれほど不合理か、想像に難くない。早期専門化というアイデアが、はたしてこの基本設計にかなっているのかを今一度問い直したい。次回はそうした視点から、思春期前の身体活動の意義を考えてみる。



ヒトとチンパンジーの体重の発育速度の比較。ヒトでは、子ども期のゆっくりとした成長の遅れを取り戻すかのように思春期ピークがみられる（Gurven Mら, 2006）

施設用器具委員会報告 (15-1)

施設用器具委員会

◆2015年度に公認した競技場及び長距離競走路

(2015.03.19 ~ 2015.09.30)

- 9009 栗原市(ハ) 栗原市役所若柳総合支所前～ユニー資材置場前
コード番号047130 ▽21km0975 10km 自転車計測 往復 新設
2015.04.01 ~ 2020.03.31
- 9010 浦安市(運)(陸) 浦安市舞浜2の27
コード番号124100 第4種 400m 全天候 新設
2015.04.01 ~ 2020.03.31
- 9011 東京大学(陸) 目黒区駒場3の8の1
コード番号134250 第4種(降格) 400m 全天候 継続
2014.12.01 ~ 2019.11.30
- 9012 鯖江つつじ(ハ) 鯖江東(運)(陸)～尾花町山本製材所前
▽21km0975 自転車計測 往復 継続
2015.03.31 ~ 2020.03.30
- 9013 城山(陸) 小田原市城山2の29の1
第2種 400m 全天候 継続
2015.04.01 ~ 2020.03.31
- 9014 枚方市立(陸) 枚方市中宮大池4の10の1
コード番号273120 第3種(降格) 400m 全天候 継続
2015.03.31 ~ 2020.03.30
- 9015 日本万国博覧会記念公園運動場 吹田市千里万博公園5の2
第4種 400m 一部全天候 継続
2015.03.28 ~ 2020.03.27
- 9016 甲南大学六甲アイランド総合体育施設(陸) 神戸市東灘区向洋町中9の4
第4種 400m 全天候 継続
2015.03.31 ~ 2020.03.30
- 9017 都麻の郷交流(グ)(陸) 西脇市坂本444の7
第4種 400m 土質 継続
2015.03.01 ~ 2020.02.29
- 9018 境港市菅電ケ山(陸) 境港市三軒屋町4043
第4種 400m 土質 継続
2015.03.24 ~ 2020.03.23
- 9019 愛媛県総合(運)(陸) 松山市上野町乙46
第1種(多) 400m 全天候 継続
2015.04.01 ~ 2020.03.31
- 9020 愛媛県総合(運)補助(競) 松山市上野町乙46
第3種 400m 全天候 継続
2014.10.01 ~ 2019.09.30
- 9021 高知市(陸) 高知市大原町158
第2種乙 400m 全天候 継続
2015.05.01 ~ 2020.04.30
- 9022 糸満市西崎(陸) 糸満市西崎3の1
第3種 400m 全天候 継続
2015.04.15 ~ 2020.04.14
- 9023 千葉県総合スポーツセンター(陸) 千葉市稲毛区天台町323
第1種 400m 全天候 継続
2015.06.08 ~ 2020.06.07
- 9024 さいたま国際(長) さいたまスーパーアリーナ前～A県道一号線山崎交差点～B埼玉スタジアム東入口交差点 C国道463号バイパス神明町交差点
コード番号117070 ▼42km195 自転車計測 循環(一部往復) 新設
2015.04.15 ~ 2020.04.14
- 9025 六ヶ所村大石総合(運)(陸) 上北郡六ヶ所村大字尾鮫字野附521の1
第4種 400m 全天候 継続
2015.05.01 ~ 2020.04.30
- 9026 岩手県営(運)(陸) 盛岡市みたけ1の10の1
第2種B 400m 全天候 継続
2015.04.22 ~ 2020.04.21
- 9027 本荘由利総合(運)水林(陸) 由利本荘市水林地内
第3種 400m 全天候 継続
2015.05.05 ~ 2020.05.04
- 9028 横手十文字(陸) 横手市十文字町十五野新田字坊主沢20の1
第3種 400m 全天候 継続
2015.05.02 ~ 2020.05.01
- 9029 上尾シティ(ハ) 上尾(運)(陸)～上尾市小泉地内
21km0975 ワイヤ計測 往復 継続
2015.05.01 ~ 2020.04.30
- 9030 京都市西京極総合(運)(陸)兼球技場 京都市右京区西京極新明町32
第1種 400m 全天候 継続
2015.07.01 ~ 2020.06.30
- 9031 江津市中央公園多目的広場 江津市嘉久志町イ450
第4種 400m 土質 継続
2015.04.01 ~ 2020.03.31
- 9032 鹿児島県立鴨池(陸) 鹿児島市与次郎2の2の2
第1種B(多) 400m 全天候 継続
2015.04.30 ~ 2020.04.29
- 9033 鹿児島県立鴨池補助(競) 鹿児島市与次郎2の2の2
コード番号463120 第3種 400m 全天候 新設
2015.04.30 ~ 2020.04.29
- 9034 苫小牧市緑ヶ丘公園(陸) 苫小牧市清水町3の3の26
コード番号013450 第3種(昇格) 400m 全天候 継続
2015.04.30 ~ 2020.04.29
- 9035 弘前市(運)(陸) 弘前市大字豊田2の3の1
第2種 400m 全天候 継続
2015.04.21 ~ 2020.04.20
- 9036 加美町陶芸の里スポーツ公園(陸) 加美郡加美町宮崎新土手浦1
第3種 400m 全天候 継続
2015.05.05 ~ 2020.05.04
- 9037 新函館(ハ) 八千代台公園(陸)～A湯川町 B青柳町
コード番号017490 ▽21km0975 自転車計測 循環 新設
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9038 金ヶ崎(ハ) 森山総合公園(陸)～金ヶ崎町永栄栄田
▽21km0975 自転車計測 往復 継続
2015.05.03 ~ 2020.05.02
- 9039 秋田県営(陸) 秋田市雄和椿川字駒坂台4の1
第1種B 400m 全天候 継続
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9040 秋田県営補助(陸) 秋田市雄和椿川字駒坂台4の1
第3種 400m 全天候 継続
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9041 胎内市総合(グ)(陸) 胎内市西条666
コード番号163140 第3種(降格) 400m 全天候 継続
2015.05.05 ~ 2020.05.04
- 9042 魚津桃山(運)桃山(陸) 魚津市出字桃山36
第2種 400m 全天候 継続
2015.05.07 ~ 2020.05.06
- 9043 小浜市(総)(陸) 小浜市口田縄5の23
第3種 400m 全天候 継続
2015.05.07 ~ 2020.05.06
- 9044 東広島(運)(陸) 東広島市西条町田口67の1
第2種 400m 全天候 継続
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9045 北見市東陵公園(陸) 北見市東陵町27
第3種 400m 全天候 継続
2015.06.10 ~ 2020.06.09
- 9046 旭川(ハ) 花咲スポーツ公園(陸)～旭川サイクリングロード
コード番号017500 ▽21km0975 自転車計測 循環 新設
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9047 東北町北総合(運)(陸) 上北郡東北町字外姥沢前平75の45
第3種 400m 全天候 継続
2015.05.25 ~ 2020.05.24
- 9048 北秋田市鷹巣(陸) 北秋田市坊沢上野2
コード番号053190 第3種(昇格) 400m 全天候 継続
2015.05.25 ~ 2020.05.24
- 9049 早稲田大学織田幹雄記念(陸) 所沢市三ヶ島2の579の15
コード番号114080 第4種(降格) 400m 全天候 継続
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9050 鴨川市(陸) 鴨川市太尾字下島64
第3種 400m 全天候 継続
2015.07.15 ~ 2020.07.14
- 9051 柏崎(長) 柏崎市(陸)～ホームはやまの里駐車場入口付近
◆42km195 21km0975 10km 自転車計測 往復 継続
2015.07.01 ~ 2020.06.30
- 9052 ぎふ清流(ハ) 岐阜メモリアルセンター前バス停前～JR岐阜
駅北前～岐阜メモリアルセンター長良川(陸)
▼21km0975 自転車計測 循環 継続
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9053 伊勢(ハ) サナリーナ前～A県営(陸)前 B朝熊科金所～サン
アリーナ駐車場内
コード番号247080 ▽21km0975 10km 自転車計測 往復 新設
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9054 鹿屋体育大学(陸) 鹿屋市白水町1
第3種 400m 全天候 継続
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9055 ふるさと(運)(陸) 三戸郡南部町大字上名久井字長尾下55
第4種 400m 全天候 継続
2015.05.01 ~ 2020.04.30
- 9056 いしのまき復興(ハ) 石巻市総合(運)～県道192号線真野支線22電柱先
コード番号047140 ▽21km0975 10km 自転車計測 往復 新設
2015.06.15 ~ 2020.06.14
- 9057 三条燕総合(グ) 三条市上須頃
第4種 400m 全天候 継続
2015.06.01 ~ 2020.05.31
- 9058 田沢湖(長) 春山三叉路～しらほイイベント広場
▽42km195 20km 自転車計測 循環 継続
2015.04.01 ~ 2020.03.31
- 9059 富山第1(長) 高岡市役所前～赤祖父交差点～富岩運河環水公園前
コード番号177060 ▼42km195 自転車計測 片道 新設
2015.07.24 ~ 2020.07.23
- 9060 富山第2(長) 高岡市役所前～赤祖父交差点～富山新港公共埠頭
～富岩運河環水公園前
コード番号177070 ▼42km195 自転車計測 片道 新設
2015.07.24 ~ 2020.07.23
- 9061 佐久市(ハ) 佐久市平賀～上平尾
コード番号207230 ▽21km0975 10km 自転車計測 往復 新設
2015.06.30 ~ 2020.06.29
- 9062 弓削商船高等専門学校(陸) 越前郡上島町弓削下弓削1000
第4種 400m 一部全天候 継続
2015.07.01 ~ 2020.06.30
- 9063 丹沢湖(ハ) 三保郵便局前～旧山北町立三保中学校(グ)
▽21km0975 自転車計測 周囲 継続
2015.08.01 ~ 2020.07.31
- 9064 兵庫県立三木総合防災公園(陸) 三木市志染町三津田1708
第1種 400m 全天候 継続
2015.09.01 ~ 2020.08.31
- 9065 兵庫県立三木総合防災公園第2(陸) 三木市志染町三津田1708
第3種 400m 全天候 継続
2015.09.01 ~ 2020.08.31
- 9066 徳島県鳴門総合(運)第2(陸) 鳴門市撫養町立岩字四枚61
第3種 400m 全天候 継続
2015.07.09 ~ 2020.07.08
- 9067 江東区夢の島(競) 江東区夢の島1の1の2
第2種 400m 全天候 継続
2015.04.01 ~ 2020.03.31
- 9068 青梅(30km) 東青梅4丁目～奥多摩町川井～青梅市総合体育館前
▼30km 10km 自転車計測 往復 継続
2015.10.01 ~ 2020.09.30
- 9069 新発田市五十公野公園(陸) 新発田市五十公野5724
第2種 400m 全天候 継続
2015.10.01 ~ 2020.09.30
- 9070 新潟市(陸) 新潟市中央区一番堀通町3の1
コード番号162080 第2種(降格) 400m 全天候 継続
2015.11.01 ~ 2020.10.31
- 9071 各務原市総合(運)(陸) 各務原市中下屋町974
コード番号234040 第4種 400m 全天候 新設
2015.08.01 ~ 2020.07.31
- 9072 三田(ハ) 三田警察署前～ワシントンヴィレッジ・ヴィレッジ
センター前～兵庫県立有馬高等学校(グ)

▽21km0975 自転車計測 循環 継続 2015.10.14 ~ 2020.10.13
 9073 おかやま(長) 岡山県総合(グ)体育館前~西高崎~岡南大橋東詰~岡山県(陸)
 コード番号337170 ▽42km195 自転車計測 循環 新設
 2015.08.01 ~ 2020.07.31
 9074 佐賀県(陸) 佐賀市市の出2の1の59
 第1種B(多) 400m 全天候 継続 2015.08.01 ~ 2020.07.31
 9075 はまなす車いす(ハ) 大通公園4丁目~新川通新川西1丁目
 コード番号017510 ▽21km0975 自転車計測 片道 新設
 2015.08.30 ~ 2020.08.29
 9076 大船渡市(10哩) 大船渡市民体育館前~市民体育館駐車場
 ▽10哩 10km 自転車計測 周回 継続 2014.08.28 ~ 2019.08.27
 9077 酒田市光ヶ丘(陸) 酒田市光ヶ丘3の5の6
 第3種 400m 全天候 継続 2015.07.31 ~ 2020.07.30
 9078 大田原市(長) 大田原市美原公園(陸) ~大田原市新宿地内
 ▽42km195 自転車計測 循環 継続 2015.04.01 ~ 2020.03.31
 9079 新潟シティ(長) 新潟市役所前~A西区五十嵐3の町 B西区五十
 嵐2の町新漁港 C中央区浜浦町関屋分水路右岸~新潟市(陸)
 ◆42km195 21km0975 10km 自転車計測 循環 継続
 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9080 下諏訪町(総)(陸) 諏訪郡下諏訪町西鷹野町字五三枚4562
 第4種 250m 土質 継続 2015.10.10 ~ 2020.10.09
 9081 岐阜メモリアルセンター長良川(競) 岐阜市長良福光大野2675の28
 第1種 400m 全天候 継続 2015.08.30 ~ 2020.08.29
 9082 紀州口熊野(長) 上富田町役場庁舎横~白浜町保口~上富田町文化会館前
 ▽42km195 21km0975 自転車計測 循環 継続 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9083 打吹東郷湖畔三朝(長) 倉吉市宮(陸) ~A宮戸弁天先 B恭・
 将棋はわい会館
 ▽42km195 21km0975 自転車計測 往復(一部循環) 継続
 2015.09.16 ~ 2020.09.15
 9084 美作市F1(岡山国際サーキット)(ハ) 岡山国際サーキット~芦谷
 21km0975 10km ワイヤー計測 周回 継続 2015.09.01 ~ 2020.08.31
 9085 益城町(10哩) 益城町総合(運)(陸) ~A杉堂 B寺中
 コード番号437150 ▽10哩 10km 自転車計測 往復 新設
 2015.09.01 ~ 2020.08.31
 9086 小林総合(運)市営(陸) 小林市南西方2085
 第3種 400m 全天候 継続 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9087 黒石(運)(陸) 黒石市緑ヶ丘182
 第4種 400m 一部全天候 継続 2015.08.01 ~ 2020.07.31
 9088 長井市(陸)付設がない黒獅子(ハ)
 ▽21.0975km 自転車計測 循環 継続 2015.08.31 ~ 2020.08.30
 9089 坂東市いわい将門(ハ) 坂東市岩井いこいの広場~丸天運輸資
 料センター前~坂東市八坂総合公園(陸)
 21km0975 10km ワイヤー計測 循環 継続 2015.11.01 ~ 2020.10.31
 9090 扇状地(ハ) 入善町中央公園(陸) ~入善町上野
 ▽21km0975 10km 自転車計測 往復 継続 2015.09.01 ~ 2020.08.31
 9091 大阪国際女子(長) ヤンマースタジアム長居~御堂筋「道頓堀橋南詰」
 ▼42km195 自転車計測 往復 継続 2015.11.14 ~ 2020.11.13
 9092 大阪(ハ) 大阪城公園東側~土佐堀通「天神橋」交差点東~ヤ
 ンマースタジアム長居
 ◆21.0975km 自転車計測 片道 継続 2015.11.14 ~ 2020.11.13
 9093 西宮市立(陸) 西宮市河原町1の16
 第4種 400m 土質 継続 2015.08.25 ~ 2020.08.24
 9094 大仙市立西仙北中学校(陸) 大仙市刈和野字田中蟻塚12
 第4種 400m 土質 継続 2015.06.30 ~ 2020.06.29
 9095 自衛隊体育学校(陸) 朝霞市溝沼
 条件付 第4種 400m 全天候 継続 2015.09.01 ~ 2020.08.31
 9096 新宮市民運動(競) 新宮市佐野1501
 第4種 200m 土質 継続 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9097 徳山大学総合(グ)(陸) 周南市孝田町64の2
 コード番号354090 第4種 400m 全天候 継続
 2015.05.13 ~ 2020.05.12
 9098 西予市宇和(運)(陸) 西予市宇和町町甲3の517
 第4種 300m 一部全天候 継続 2015.09.21 ~ 2020.09.20
 9099 江東シーサイド(ハ) 江東区夢の島(競) ~A新木場緑道公園
 B若洲海浜公園護岸道路
 ▽21.0975km 10km 自転車計測 循環 継続 2015.09.01 ~ 2020.08.31
 9100 高島まほろば(50km歩) 三郎薬局前交差点前~A千葉医院前
 B昭和7号館東側
 ◆50km 20km 10km 5km 自転車計測 競歩 周回 継続
 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9101 東近江市布引(運)(陸) 東近江市芝原町1503
 第3種 400m 全天候 継続 2015.10.10 ~ 2020.10.09
 9102 総社北公園(陸) 総社市福井1200
 第3種 400m 全天候 継続 2015.09.28 ~ 2020.09.27
 9103 周防大島町(陸) 大島郡周防大島町大字西方1958の77
 第4種 400m 全天候 継続 2015.11.01 ~ 2020.10.31
 9104 行橋(ハ) 行橋総合公園前~A行橋市大字稲童 B航空自衛隊築城基地内
 コード番号407270 ▽21.0975km 自転車計測 往復(一部循環) 新設
 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9105 長与総合公園(運)広場 西彼杵郡長与町岡郷658の13
 第4種 400m 一部全天候 継続 2014.12.17 ~ 2019.12.16
 9106 深川市(陸) 深川市6条21の3
 第3種 400m 全天候 継続 2015.10.07 ~ 2020.10.06
 9107 むつ(運)(陸) むつ市山田町43の1
 第2種 400m 全天候 継続 2015.10.01 ~ 2020.09.30

9108 青森市浪岡総合公園(陸) 青森市浪岡大字浪岡字稲盛6
 第4種 400m 土質 継続 2015.05.05 ~ 2020.05.04
 9109 秋田市営八橋(陸) 秋田市八橋運動公園1の10
 第1種B 400m 全天候 継続 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9110 つくば(長) 筑波大学周回道路天久保池西~A北大通りB中根入
 口 C筑波大学中央~筑波大学(陸)
 コード番号087180 ▽42.195km 10km 自転車計測 循環 新設
 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9111 前橋総合(運)(陸) 前橋市荒口町437の2
 第3種 400m 全天候 継続 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9112 日本女子体育大学(陸) 世田谷区北烏山8の19の1
 第4種 300m 全天候 継続 2015.09.01 ~ 2020.08.31
 9113 日本体育大学横浜健志台キャンパス(陸) 横浜市青葉区鴨志田町1221の1
 第3種 400m 全天候 継続 2015.11.13 ~ 2020.11.12
 9114 長岡市(ハ) 長岡市(陸) ~
 コード番号167180 ▽21.0975km 自転車計測 循環 新設
 2015.10.01 ~ 2020.09.30
 9115 金沢市営(陸) 金沢市弥生3の5の1
 第2種 400m 全天候 継続 2015.09.03 ~ 2020.09.02
 9116 和歌浦ベイマラソン With ジャズ(ハ) 和歌山市中央卸売市場南側
 道路~A雑賀碕工業団地内 B片男波海水浴場駐車場~和歌山マ
 リーナシティ内
 ▽21.0975km 10km 自転車計測 循環 継続 2015.10.22 ~ 2020.10.21
 9117 山口県立光高等学校(陸) 光市光井6の10の10
 第4種 400m 土質 継続 2015.10.31 ~ 2020.10.30
 9118 宮崎市生目の杜(運)(陸) 宮崎市大字跡江4461の1
 第3種 400m 全天候 継続 2015.10.10 ~ 2020.10.09
 9119 鹿児島島(長) ドルフィンボート前~ニシムタ始良店先~鹿児島市
 役所
 コード番号467190 ▽42.195km 自転車計測 往復 新設
 2015.12.01 ~ 2020.11.30

◆検定延期が承認されている競技場及び長距離競走路
 (2015.09.30現在)

[北海道] 共和中学校(陸) 第4種 300m 2015.10.10 ~ 2015.11.30
 [岩手] 一関(運)(陸) 第2種 400m 2015.08.01 ~ 2016.03.31
 [岩手] 岩手県営(運)補助(競) 第4種 300m 2015.04.22 ~ 2016.04.21
 [茨城] 笠松(運)補助(陸) 第3種 400m 2015.03.27 ~ 2016.03.26
 [茨城] 阿見町総合(運)(陸) 第4種 400m 2015.03.20 ~ 2016.03.19
 [神奈川] 大和市菅大和スポーツセンター 第3種 400m 2015.03.15 ~ 2016.03.14
 [神奈川] 三ツ沢公園 第2種 400m 2015.10.27 ~ 2016.03.31
 [福井] 福井県営(陸) 申請中 第1種 400m 2015.04.01 ~ 2016.03.31
 [兵庫] 北はりま田園(ハ) 申請中 21km0975 2015.07.01 ~ 2015.11.30
 [兵庫] 豊岡市立豊岡総合スポーツセンター 第4種 400m 2015.09.24 ~ 2016.03.31
 [広島] 広島県総合(グ)メインスタジアム 第1種 400m 2015.10.26 ~ 2016.10.25

◆公認が廃止となった競技場及び長距離競走路
 (2015.03.19 ~ 2015.09.30)

[北海道] はまなす車いす(長) 42km195 2015.06.30限り
 [北海道] はまなす全国車いす(ハ) 21km0195 2015.06.30限り
 [岩手] 遠野じんぎすかん(ハ) 21km0195 2015.05.21限り
 [宮城] KBH松島(東日本放送)(ハ) 21km0195 2015.05.22限り
 [福島] 羽鳥湖畔(10km) 10km 2015.06.30限り
 [福島] あぶくま高原いいたて(長) 42km195 2014.09.29限り
 [群馬] 国際福祉エコロジー(長) 42km195 2015.04.01限り
 [神奈川] 横浜(ハ) 21km0195 2015.06.18限り
 [静岡] 静岡駿府(ハ) 21km0195 2015.02.03限り
 [福井] 敦賀(10km) 10km 2015.07.31限り
 [奈良] 吉野川(ハ) 21km0195 2015.04.15限り
 [山口] 周南市(陸) 第4種400m 2015.05.01限り
 [宮崎] 日南(ハ) 21km0195 2015.03.31限り
 [沖縄] 久米島(長) 42km195 2015.07.31限り

◆種別変更のあった競技場 (2015.03.19 ~ 2015.09.30)

[北海道] 苫小牧市緑ヶ丘公園(陸) 第4種⇒第3種 (昇格)
 [秋田] 北秋田市鷹巣(陸) 第4種⇒第3種 (昇格)
 [埼玉] 早稲田大学織田幹雄記念(陸) 第3種⇒第4種 (降格)
 [東京] 東京大学(陸) 第3種⇒第4種 (降格)
 [神奈川] 川崎市等々力(陸) 第3種⇒第1種 (昇格)
 [新潟] 新潟市(陸) 第1種⇒第2種 (降格)
 [新潟] 胎内市総合(グ)(陸) 第2種⇒第3種 (降格)
 [大阪] 枚方市立(陸) 第2種⇒第3種 (降格)
 [山口] 徳山大学総合(グ)(陸) 第3種⇒第4種 (降格)

◆名称変更 (2015.03.19 ~ 2015.09.30)

[青森] 浪岡総合公園(陸) ⇒青森市浪岡総合公園(陸)
 [秋田] 本庄由利総合(運)(陸) ⇒本庄由利総合(運)水林(陸)
 [兵庫] 西宮市西宮中央(運)(陸) ⇒西宮市立(陸)
 [大分] 別府大分毎日第2(長) ⇒別府大分毎日(長)

大会観戦ガイド

いよいよ駅伝&マラソンシーズン到来！
来年のリオオリンピックに向けて奮闘する選手たちに
ぜひご注目下さい！

第1回さいたま国際マラソン 兼第31回オリンピック競技大会 (2016 / リオデジャネイロ) 女子マラソン代表選手選考競技会

今年が第1回目となるさいたま国際マラソンは、リオデジャネイロオリンピック競技大会の女子代表選手選考を兼ねているほか、IAAFシルバーラベルの大会であり、国内外の有力選手が集います。

埼玉を舞台に繰り広げられる熱戦にご期待下さい。

- ▼日時：11月15日(日) 9時10分スタート
- ▼会場(スタート・フィニッシュ)：さいたまスーパーアリーナ
- ▼アクセス：JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線「さいたま新都心」駅下車、徒歩すぐ
- ▼コース：さいたまスーパーアリーナ発着、日本陸連・IAAF/AIMS公認コース
- ▼テレビ放映予定：日本テレビ系
11月15日(日) 9:00～11:50(生中継)
- ▼問合せ先：さいたま国際マラソン大会事務局
ハローダイヤル：050-5548-8686
(全日/午前8:00～午後10:00)

- ▼日本陸連WEB内大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1287/>
大会公式サイト
<http://saitama-international-marathon.jp/>

第69回福岡国際マラソン選手権大会 兼第31回オリンピック競技大会 (2016 / リオデジャネイロ)代表選手選考競技会 兼第99回日本陸上競技選手権大会 男子マラソン

男子マラソンのトップランナーが福岡に集結！

リオオリンピック代表の座を巡って、白熱の戦いを展開します。日本屈指の実力者たちが世界の強豪に挑みます。

- ▼日時：12月6日(日) 12時10分スタート
- ▼会場(スタート・フィニッシュ)：福岡・平和台陸上競技場
- ▼アクセス：
 - ・福岡市地下鉄「大濠公園」、「赤坂」駅 下車徒歩8分
 - ・西鉄バス「大手門・平和台陸上競技場入口」バス 下車徒歩5～8分
- ▼コース：福岡朝日国際マラソンコース(平和台陸上競技場・大濠公園～福岡市西南部周回～香椎折り返し) 42.195km
- ▼参加標準記録：
 - 【Aグループ】フルマラソン 2時間27分以内
30kmロードレース 1時間35分以内
ハーフマラソン 1時間05分以内
 - 【Bグループ】フルマラソン 2時間40分以内
30kmロードレース 1時間50分以内
ハーフマラソン 1時間10分以内



昨年度のスタートシーン

- ▼テレビ放映予定：テレビ朝日系列
12月6日(日)12:00～(テレビ朝日系列など全国29局ネット)
- ▼問合せ先：福岡国際マラソン事務局（朝日新聞社西部企画事業チーム内）TEL：092-411-1137
- ▼日本陸連WEB内大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1289/>
大会公式サイト
<http://www.fukuoka-marathon.com/index.html>

“日清食品カップ” 第18回全国小学生クロスカントリー リレー研修大会

全国から小学生の精鋭たちが大阪に集結！一生懸命走る金の卵たちに、大きなご声援をお願いします！

- ▼日時：12月13日（日）
- ▼会場：大阪・池田市民文化会館（アゼリアホール）、大阪・万博記念公園東の広場特設コース
- ▼アクセス：
 - ・阪急線：南茨木駅、山田駅、蛍池駅
 - ・地下鉄御堂筋線（北大阪急行線）：千里中央駅
 - ・地下鉄谷町線：大日駅
 - ・京阪本線：門真市駅
 上記路線・駅のそれぞれから大阪モノレール「万博記念公園駅」もしくは「公園東口駅」下車。
- ▼種目：
 - ・11：40 友好タイムトライアルレース
チーム対抗リレーに参加できなかった50チームの男女各1名が出場。
 - ・11：50 チーム対抗クロスカントリーリレー
全国から50チームが参加し、6区間（1区間1.5km）の総合タイムで順位を決定。
1・3・5区が女子選手、2・4・6区が男子選手。



昨年度の大会の様子

- ▼出場チーム：各加盟団体より推薦を受けた全国47都道府県より各1チームずつ、開催地（大阪）より3チームの合計50チームが出場。
- ▼問合せ：
日本陸上競技連盟事務局 担当：畔蒜・藤代
TEL 03-5321-6580 / FAX 03-5321-6591
- ▼日本陸連WEB内大会ページ：
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1290/>

平成27年度全国中学校体育大会 第23回全国中学校駅伝大会

- ▼日時：12月13日（日）
女子11時00分スタート
男子12時15分スタート
- ▼会場：山口県セミナーパーク・クロスカントリーコース
- ▼アクセス：
 - ・JR山陽本線新山口駅から約10km（タクシー約15分）、四辻駅から約3km
 - ・山陽自動車道山口南I.C.から車で約10分
 - ・中国自動車道小郡I.C.から車で約20分
- ▼コース：山口県セミナーパーク・クロスカントリーコース
 - ・男子の部（6区間18km、各区間3km）
 - ・女子の部（5区間12km、1・5区3km、2・3・4区2km）
- ▼問い合わせ先：
中中駅伝事務局（山口市立白石中学校内）
TEL 083-924-8997 / FAX 083-902-7007
- ▼日本陸連WEB内大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1291/>
大会公式サイト：
<http://www.diciotto.com/ekiden23/>



昨年度の大会の様子



JAAF SAGA 一般財団法人佐賀陸上競技協会

〒840-0852 佐賀市中折町10-18 高橋正秀様方
TEL.0952-23-8961 FAX.0952-23-8961
http://www.sagarikujyo.jp/

今年8月1日SAGA Super Games2015ストリート陸上が開催された。

九州での開催は初めてということで佐賀市民がおおいに関心を持って開催された。

ゲストアスリート6名、塚原直貴選手、秋本真吾選手、高橋友輝選手、奈良光基選手、春田純選手、地元より紫村仁美選手が仮設の走路で短距離、ハードル走、棒高跳とアスリートの迫力ある走りや跳躍を目の前で見て大変驚いていた。又、小学生とアスリート選手との50mハンディマッチ走で小学生が見事な走りをアスリートの前で見せてくれた。

8月開催された北京世界陸上競技選手権の前にニュージーランド選手の事前合宿が佐賀県総合運動場で約二週間の合宿が行われ、県内の中高生が世界一流の選手に触れあつたことができたことは貴重な経験になったことだと思います。

是非、次回東京オリンピックの時に佐賀へ来てもらいたいと思います。

JAAF KUMAMOTO 一般財団法人熊本陸上競技協会

〒861-8046 熊本市石原2-9-1 熊本県民総合運動公園内
TEL.096-388-1688 FAX.096-388-1688
http://www.kumariku.org/

6月の日本陸上競技選手権大会で、熊本関係の女子2選手が優勝を果たしました。

400mHでは、吉良愛美選手(アットホーム=熊本商業高出)が57秒92で初優勝。2年連続2位の悔しさを晴らしましたが「56秒台は出なかった」とちよっぴり不満げで、リオ五輪に向けて更なる成長が期待されます。

三段跳は中尾有沙選手(祐和會)が13m09(県新記録)で出場8年目にして初の栄冠に輝きました。両種目とも県勢の優勝は初めてです。インターハイでは、男子4×400mRで九州学院(赤崎、松原、中村拓、江藤)が3分10秒18の県新記録で優勝しました。この種目は県勢として初のタイトルです。

8月の世界陸上競技選手権大会女子マラソンで13位だった前田彩里選手(ダイハツ=熊本信愛女学院高出)が9月、熊本市や地元・菊池郡大津町の報告会でレースを振り返り「最初から速いスピードで走らないと勝負にならない」と今後の課題を挙げました。リオ五輪に向けて「(日本陸連設定の)2時間22分30秒を切ることが目標」と意欲に燃えています。

熊本城マラソンの運営委員会が10月1日に開かれ、2017年(第6回大会)のフルマラソンコースをほぼ現行通りとすることが決まりました。日本陸連の公認(5年間)が来年11月で切れるにあたり「熊本市全体がにぎわうコースに」などの意見も出ましたが、交通事情等から現在のコースを微調整して日本陸連に公認申請されます。なお、来年2月21日開催の第5回大会には全国から約2万4600人の申し込みがあり、抽選倍率は2倍を超えました。

(文責:企画広報部長 永廣憲一)

JAAF NAGASAKI 一般財団法人長崎陸上競技協会

〒854-0061 諫早市宇都町27-1
一般社団法人 長崎県公園緑地協会管理事務所分室内
TEL.0957-21-1921 FAX.0957-47-5411
http://jaaf-nagasaki.net

2014年長崎がんばらば国体を終え、新体制で迎えた本年度は、競技者・指導者・競技審判員・補助員はじめ保護者を対象に講演会を実施しました。これは、本協会が財団法人化後に(一社)長崎県公園緑地協会と共同体で施設管理を受託している長崎県立総合運動公園陸上競技場における「スポーツ相談室」事業の一環として実施したもので、株式会社大塚製薬工場の協力を受け、「熱中症と脱水症状時の対応」をテーマにサプリメントアドバイザーによる講演会と経口補水液「OS-1」の試飲会を開催しました。

講演会は延べ4回実施し、競技役員、高校等のマネージャー、緑地公園作業員や保護者を含め延べ182名が受講しました。

全国各地で熱中症の発生が頻発している中、発症のメカニズムや対応方法等、機を得た講演会と試飲会でした。

◎第1回講演会

平成27年4月25日(土)「ながさきリレカーニバル」競技会

◎第2回講演会

平成27年5月16日(土)「平成27年度長崎県陸上競技選手権大会」

◎第3回講演会

平成27年8月10日(月)「第70回国民体育大会長崎県予選会」

試飲会は上記3回の競技会中に実施し、

競技者4,501名 指導者308名 競技役員468名 補助員338名
陸協役員70名 県公園緑地協会88名 総合運動公園ランニング教室10名 救護所・保護者等44名で延べ人数5,827名が参加した。

JAAF OITA 一般財団人大分陸上競技協会

〒870-0931 大分市西浜1-1 大分市営陸上競技場3階
TEL.097-552-7808 FAX.097-552-7806
http://www.d-b.ne.jp/oita-rik/

本協会の専門部は、特徴ある競技会の開催や練習会を軸に陸上競技の両輪ともいえる競技運営と競技力の向上を図っています。その一例をご紹介します。

9月22日(火・国民の休日)、第15回大分県レディース陸上競技大会が大分市営陸上競技場で開催されました。本大会は、女性部が中心となり女性審判員の審判技術の向上、「なでしこ」の育成、異業種間の交流を目的に毎年この時期に開催されています。今年は県外からも強豪チームの参加があり、大会記録が7つ更新されました。また、10月24日(土)は第2回高校学年別陸上競技大会が、大分スポーツ公園大分銀行ドームで開催されます。強化部の高校担当が中心となり競技力向上を目指して昨年企画された大会ですが、この大会も県外からの参加者を歓迎しています。審判部も協力して大会を盛り上げます。そして、11月から来年3月までのオフシーズンには強化部の中学担当が中心となり約60名の小中高の指導者による小中高連携ジュニア練習会が今年は8回開催されます。18年前に始まったこの練習会も指導者が連携することで毎年500名近い参加者があり、本県のジュニア選手育成に大いに貢献しています。

まだまだ工夫の余地はありますが、今後も組織的な企画・実践を通じて、本県の陸上競技を盛り上げスポーツの振興に貢献したいと考えています。

(文責:総務部長兼女性部長 羽田野)

事務局からのお知らせ

◆◆公式動画サイトに、日本選手権リレー・ジュニアオリンピックを公開!◆◆

日本陸連公式動画サイト「JAAF JAPAN ATHLETICS TV」では、10月23日(金)～25日(日)に神奈川・日産スタジアムで開催した第99回日本陸上競技選手権リレー競技大会・第46回ジュニアオリンピック陸上競技大会の全種目の決勝動画をアップしています!リザルトを見ながら高品質の動画をぜひお楽しみ下さい!

アクセスは <http://japanathletics.tv/> まで

※6月26日(金)～28日(日)に新潟・デンカビッグスワンスタジアムで開催した第99回日本陸上競技選手権大会の動画も好評公開中です!



今年のジュニアオリンピック Aクラス男子 100m 決勝の様子

◆◆公式Facebookで最新&貴重な情報を!◆◆



日本陸上競技連盟公式Facebookでは、各種大会や代表選手の情報、普及育成事業などさまざまな情報を発信しています。普段見ることができない選手の表情や最新の情報もお届けいたしますので、お楽しみに!

是非下記にアクセスしてください。

<https://www.facebook.com/JapanAthletics>

◆◆メールマガジン配信中!◆◆

日本陸連公式メールマガジン「JAAFアスレティックメール」を好評配信中です。登録は<http://mm.jaaf.or.jp/mailmagazine>か、右のQRコードから!



陸連時報編集委員

◇編集委員

- 横川 浩 (陸連会長)
- 友永 義治 (陸連副会長)
- 八木 雅夫 (陸連副会長)
- 尾縣 貢 (陸連専務理事)
- 原田 康弘 (陸連強化委員長)
- 風間 明 (陸連事務局長)
- 牧野 豊 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

- 大嶋 康弘
- ◇時報編集担当
- 繁田 進
 - 石塚 浩
 - 木越 清信
 - 宮田 宏
 - 高橋 祐哉
 - 小川ちあき

陸連時報編集室

〒163-0717
東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル17階
公益財団法人日本陸上競技連盟 内
TEL 03-5321-6580
FAX 03-5321-6591
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>